

## 多言語対応強化

本市は、FIFAワールドカップ（2002年）やAPEC首脳会議（2010年）などを開催しており、多言語対応については、これまでも積極的に取り組んでまいりました。

旅行者向け観光案内マップの配布や、市内事業者を対象とした「外国人旅行者向けのおもてなし研修」の開催など、ソフト面での取組に加え、大規模コンベンション施設を有する“みなとみらい地区”を中心に、各観光地において歩行者案内地図や誘導サインの設置など、ハード面での整備にも力を入れています。

今年度は、観光庁の「多言語対応の改善・強化に関するモデル事業」の実施地域として、市内施設の対応状況調査や固有名詞の対訳語整理に取り組めます。



観光案内マップ

…日本語・英語・中国語  
[繁・簡]・ハングル・タイ  
語で言語ごとに印刷



歩行者案内地図（据置）

…日本語・英語・中国語  
[簡]・ハングルを併記



歩行者誘導サイン

…日本語・英語・中国語  
[簡]・ハングルを併記

## ムスリム旅行者受入環境整備

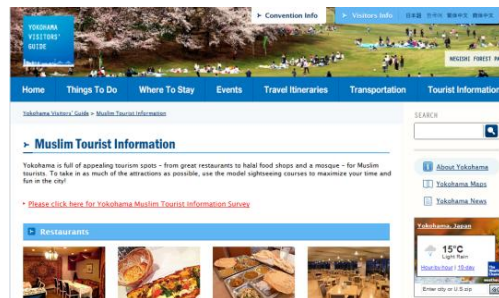
昨年度、本市インバウンド施策の対象国にマレーシアを加えたことをきっかけに、本格的に、多文化に対応した受入環境整備の取組を開始しました。

昨年度は、観光庁が実施する「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」における「ムスリム旅行者向けの受入環境整備」の戦略拠点地域に本市が選定され、横浜市観光情報公式サイト（英語版）内にムスリム旅行者向けのページを開設したほか、市内事業者を対象にムスリムについての研修を開催するなどしました。

今年度は、情報発信や研修の継続に加え、市内施設にマットとコンパスを設置する取組や、横浜土産の購入環境整備などを進めています。



市内施設に設置している  
マットとコンパス



ムスリム旅行者向け Web ページ  
<http://www.yokohamajapan.com/muslim/>